竹チップを用いた土系舗装

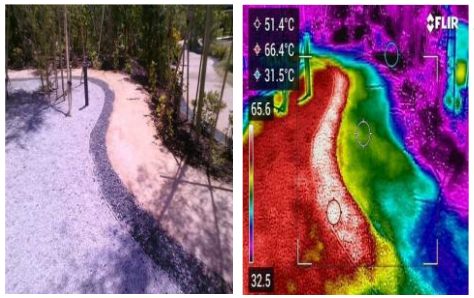
※特許取得済

“竹チップ”を有効利用した土系舗装材です。放置竹林の“竹”を有効活用し、舗装材として混合・敷き均し・打設します。土と竹チップによる柔らかさにより、歩きやすく、夏場においても舗装表面が熱くならない、自然な趣もあり環境にも優しい、SDGsな舗装材です。

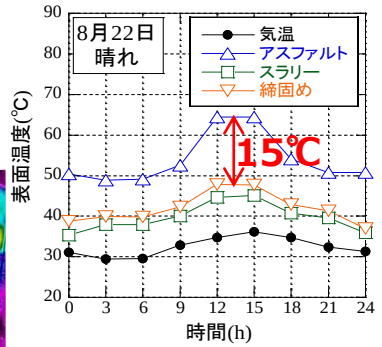
土 ＋ 専用固化材 ＋ 竹チップ

◇暑熱対策

舗装表面が熱くなりにくく、
快適に歩行可能



砂利砕石部との比較で、遮熱効果の確認



アスファルトより
15℃程度低い

保水性が高く、
蒸散熱による温度
低減効果

◇資源循環、里山保全

放置竹林問題

竹材の有効利用

竹林整備、里山保全

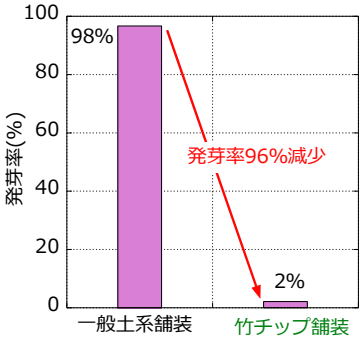
竹を有効利用することで里山が保全され、資源の循環が生まれる

締固めタイプ
広範囲での
施工可能

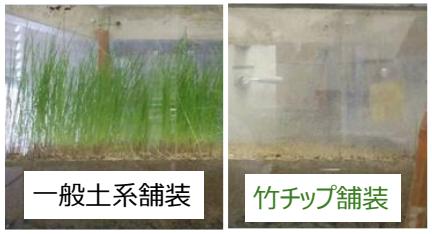
施工条件に合わせて
タイプを選ぶことができる。

スラリータイプ：
斜面や狭隘部での施工可能

◇抑草効果・防草対策

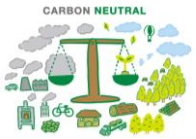


竹チップを混合
することで雑草が
発芽しにくい



抑草試験

◇カーボンニュートラル、CO_2固定

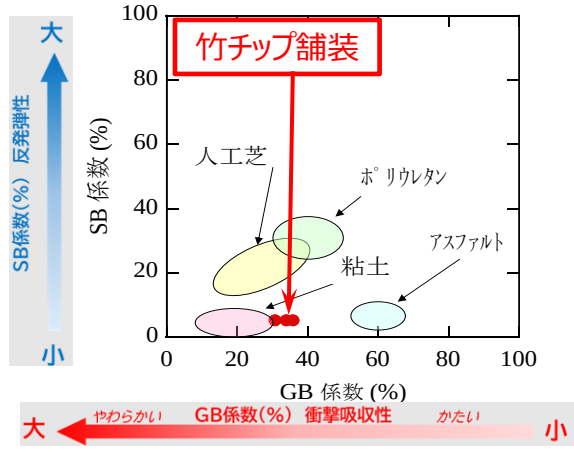


竹チップ舗装100m²当たり
竹を490kg(約竹33本分)を利用

竹のCO_2固定量(kg-CO_2) ※　※林野庁の算定式を参照
＝竹の乾燥質量(kg) ×0.482(炭素含有率)×(44/12)
＝約860kgのCO_2固定

※竹チップ製造他のCO_2の増減は考慮していない

◇歩き心地、足への優しさ



人工芝、ポリウレタン、アスファルト舗装よりも
歩行者への脚の負担の少ない舗装材料
土と竹の趣があり、足に負担がかからず
歩き心地がよい

BAMBOO PAVE ASSOCIATION